

RI D2660

東大阪東ロータリークラブ



HIGASHIOSAKA-EAST ROTARY CLUB

Club Weekly Report 2015-12-5 No.2460



世界へのプレゼントになろう

創立：昭和40(1965)年3月4日

『素直な心で、プレゼントの喜びを分かち合おう』

例会場：ホテルセイリュウ 例会：毎週木曜日 12:30～ HP：<http://www.higashiosaka-eastrc.jp>

会長：吉崎広江 / 幹事：大橋秀典 / 会報資料担当：梶田梓聞

今日の例会

- 卓話
「ロータリーとともに19年」
芳田 至弘 君
- 今日の歌
「君が代」
「四つのテスト」
- 例会後 12 月度定例理事会

来週の例会予定(12/10)

- 12月10日(木)
卓話「柳々」と上方舞
上方舞「萌紀会」会主
山村 若萌紀 様

12月は
疾病予防と治療月間
です

先週の出席報告(11/26)

先週(11/26)の出席者数：35名(0)

出席率：62.50%

会員：62名(免除6名)

	11/5	11/12	11/19
HC出席	35(1)名	38(0)名	28(0)名
MU出席	8(0)名	7(0)名	16(0)名
修正出席率	75.44%	80.36%	78.57%

会長の時間

吉崎会長

いよいよ12月に入りました。2015年も最後の一月です。ここまで暖かい日が多かったので、師走という感じがしませんね。クリスマス家族会も着々と準備が進んでおります。2015年有終の美を飾れるよう盛り上がりたと思います。

さて、12月は『疾病予防と治療月間』です。6つの重点分野の2番目に挙げられるこのテーマは、「ポリオ」「エボラ出血熱」「HIV：エイズ」「デング熱」などの疾病に対する予防や治療を推進するものです。

さて、皆さんはHALEという言葉をご存じでしょうか？健康寿命(healthy life expectancy: HALE)という意味です。HALEが最も低い国は、ハイチで、2012年の健康寿命は52歳。一体どういう国なのか調べてみました。

(2011年WFP(世界食糧計画)の資料)

- 国民の4人のうち3人が1日2ドル以下で生活しており、人口の半分は、1日に1ドル以下の収入しかない。
- 教育を受ける機会も少なく、識字率は49%ほど。
- 670万人が、まともな食事がとれておらず、(80%以上の米を含む)食料消費の半分以上は輸入に頼っている。
- 新生児の3分の1は、体重の不足した未熟児として生まれる。
- 5~10%の子供は急性の栄養失調の状態にあり、23.4%の子供は慢性的な栄養失調である。
- 15~49歳の女性のうち58%と、5歳以下の子供のうち2/3が貧血の状態にある。
- 農村部に住む6歳~12歳の子供のうち72%がヨウ素不足で、学校に通う年齢の子供の32%が腸内の寄生虫に感染している。

このような劣悪な生活環境のハイチで、36年間も専門医として結核と闘ってきた日本人女性がいらっしゃいます。ハイチのマザーテレサと呼ばれるシスターアキコ(須藤昭子)さん87歳です。体調を崩されて帰国し、現在も日本のホスピス病棟で患者のケアに従事されています。会長の時間という機会をいただき、このような素晴らしい日本人の事を知る機会を頂いて、本当に良かったと思っております。

東大阪東ロータリークラブ事務局

〒579-8012 東大阪市上石切町1-11-12 ホテルセイリュウ302号室

TEL:072-985-0189 FAX:072-985-0577 E-mail:higashiohrc@air.ocn.ne.jp

幹事報告

大橋幹事

《これからの予定》

- 【1】例会後、12月度定例理事会
- 【2】12/4（金）～5（土）地区大会
- 【3】12/10（木）例会後、年次総会
- 【4】ROTEX主催クリスマスパーティー（エリナさん、中尾 克様、中尾玲子様出席）
- 【5】12/13（日）移動例会及びクリスマス家族会
於：帝国ホテル大阪

《連絡事項》

- 【1】2016年2月11日開催のIMロータリーデーのチラシならびにアンケートを配布致しております。アンケートは事務局までご提出をお願い致します。
- 【2】本日例会後、12月度定例理事会を開催致します。
- 【3】12/4（金）～5（土）開催の地区大会へご参加の方は入場証が必要となりますので、必ずご持参下さい。入場証は、前回11/26の例会で配布し、欠席の方には郵送させていただいております。お弁当の引換券は、各自お忘れなくお持ち下さい。お弁当の引き換えは12:30まで、お召し上がりは13:00までです。（お持ち帰りは出来ません）
又、本会議の際、当クラブは、2014～15年度「R1会長賞」を受賞しましたので、表彰されることになりました。登壇は天野直前会長をお願いしております。
- 【4】12/13（日）は帝国ホテル大阪に於きまして、移動例会ならびにクリスマス家族会です。
ご家族お揃いで多数のご参加を宜しくお願い致します。
- 【5】12月のロータリーレートは120円です。

委員会報告

◎会員研修委員会 広田委員長

新入会員オリエンテーションのご案内

会員研修委員会に於きまして、今年度入会されました石川 亨（7月30日）会員、井戸田精一（10月8日）会員のオリエンテーションを12月4日（木）例会後、例会場にて行います。



井上会員「晴舞台」

《会員のページ》

本日の祝い

SAA報告（ニココ箱）

東大阪ロータリークラブ 第二回REワイン同好会開催

去る11月26日(木曜日)今年は少し寒さの訪れが早く、街にはすでにクリスマスの曲が流れるそんな北はラ、ポルタでのワイン同好会、初参加の藤本親睦活動委員長などが加わり12名での開催となりました。今回はラ、ポルタさんの新しい趣向で、白と赤それぞれのワインの飲み比べ、グラスが二つ並び2種類の白が注がれました。(ブドウ皮付き絞りでロゼに近い薄ピンク色は初めて)赤についてもカベルネとメルローの2品種がやはり二つ並べたグラスにそれぞれ注がれました。私もワインに親しんで結構長いのですが、種の違うワインをグラス2個2種並べての比較は初めてで、メルローと、カベルネの相違がわかったような、勉強になったワイン会になりました。昔?初めてパリを訪れ、シャンゼリゼ通りのカフェテラスでの赤ワインの一杯から、ワインの虜になりました、もうやめられません。次回からワイン同好会の代表を須崎さんにバトンタッチいたしますが、3回目を楽しみにお待ちしております、会員の皆様もワインのかっこ良さと?奥の深さと楽しさを味わって頂きますよう是非ご参加ください。有難う御座いました。 島 顕侑



「スウェーデンの高齢者住宅を訪ねて」

井戸田精一

大都市での海外出張の楽しみは、オペラ鑑賞です。今回はストックホルム Royal Swedish Opera で “Don



Giovanni”です。色男の話は分かりやすいので、想像におまかせします。しかし、当日のラテン語の歌とスウェーデン語の字幕は、人の動きでストーリーを楽しむ程度でした。職業柄、建物を見るのが好き

なので、座っているだけでも満足できるのは私の特権です。

1929年世界大恐慌後、スウェーデンの経済政策はグナール・ミュルダール(ノーベル経済学賞)によって支えられます。そして、ヨハン・ガルトウングが貧困、抑圧、差別など構造的暴力のない状態を「積極的平和」とする概念を提起し、平和の理解に画期的な転換をもたらした結果、福祉国家として世界に知られることになりました。



税金が高いのも有名ですが、EUに参加している国は付加価値税の上限は25%で、食品などの軽減税率は6%です。住宅は、持ち屋40%、賃貸40%、利用権型20%(共同住宅組合)に分かれますが、賃貸住宅のほとんどが公共施設です。



今回の視察は、社会的な背景を社会庁や住宅庁でレクチャーを聞きながら、現在の高齢者住宅を見学するもの

です。

現在の高齢化率は、スウェーデンが25%、日本が27%です。ヨーロッパはアジアの国と比べて比較的高齢化の速度はゆっくりですが、世界中で高齢化が進んでいるのが現状です。

作家イヴァル・ローニヨハ



ンソンはスウェーデン各地の施設を訪ね、ラジオで高齢者施設の状況を報告することで、その後の社会サービスへと発展します。そして、スウェーデンも社会保障費の増加が課題となって、高齢者の介護は「在宅主義」に向かうこととなります。1992年のエーデル改革は、スウェーデンの高齢者施設であったナーシングホーム、老人ホームはすべて「特別な住居」へ転換すると、80%の施設がなくなります。サービスハウスは介護度の低い高齢者が対象でしたが、シニア住居、安心住居へと変わりました。

「特別な住居」の多くは、市が運営するものが多く、経営の実態は、日本の社会福祉法人に似ています。市職員である看護師が介護の計画を立て、アンダーナースが介護することで、介護費のすべてを税金で負担することになります。都市部では一部民営化がされていますが、日本の社会保障負担率や法人所得課税は、スウェーデンより高いのが現状です。

シニア住居、安心住居は、日本のサービス付き高齢者とよく似ていますが、公営が多く、共用の多目的室やプールなどが付属しているバリアフリー住宅です。

スウェーデンの福祉が進んでいると期待したのですが、日本のほうがよい部分もたくさんあると感じています。社会資本となるまちづくりに必要な公共施設や住宅などは、スウェーデンのほうが物を大切にしているように感じました。いづれにしても福祉先進国である日本がどうなっていくか、世界からも期待されているように思います。

第2回 | M情報集会報告書 第4班

リーダー 一由 麻里
サブリーダー 梶田 梓聞

日時：2015年11月17日（火）午後7時～

場所：周防町 別玄

参加者：井上 奥林 抱 森本 吉田 河村 広田
水上 駒林 古川 溝畑 一由 梶田

（順不同 敬称略）

- ①新入会員と旧会員との隔たりがある。相互のコミュニケーション不足が目立つ。
- ②クラブ運営はスムーズで、会長、幹事のリーダーシップが見事である。
- ③新入会員に付くカウンセラーが機能していない。途中の状況がどうであるかカウンセラーから聞き取り、状況を把握する作業が全くされていない。有名無実化となっている。
- ④卓話があまりにもお粗末である。もっと研究を重ねて会員諸君が勉強をして卓話の機会を大切に思っしてほしい。
- ⑤会としても皆さんの為になる卓話者を呼ぶべきである。少々経費を使っても、それが会員の為になるなら決して無駄遣いではないと思う。

第2回 | M情報集会報告書 第3班

リーダー 山崎 直人
サブリーダー 松木 俊明

日時：2015年11月27日（金）午後7時～

参加者：表 石田 天野 田中（哲）広田 吉川（千）
山崎 松木 （順不同 敬称略）

【テーマ】

- ①クラブ運営について
- ②新入会員とのコミュニケーションについて
- ③ロータリーの奉仕活動について

山崎会員【②】

入会当初は名前と顔が一致しないので社会奉仕とSA兼任となったが、SAとして行った例会のニコニコ募金の受付等が非常に役に立った。ただ、例会の受付時にはコミュニケーションをする時間があまりなかったため、先輩会員におかれては、例会以外の席への参加のお声掛けをいただくと良いのではないかと。

松木【②】

例会には中々参加できないが、例会以外の集まり（特に夜）のお声掛けをいただいているのは非常にありがたかった。今後は、新入会員発信の企画や、先輩会員と新入会員とがペアになってイベントを企画したりするのもよいと思う。

吉川会員【②】

2期連続で親睦委員として活動させていただいたが、居場所があるというように感じられてよかった。また、お誕生日の発表など、親睦委員会の仕事を通じて会員の顔を覚えることができ、また親睦をはかれた。

今後は積極的にお礼をしていきたい。

石田会員【①、②】

新入会員の人が個性豊かな方が多いので、その個性をもっと出していただくと良いと考える。

例えば、例会時にいつもと同じテーブルに座るのではなく、例会ごとに異なるテーブルに座る等、工夫をしてコミュニケーションを図っていかれると良いと思う。新入会員と先輩会員両方が協力していくことで良いクラブを作っていける。

天野会員【②、③】

新入会員と先輩会員との間の垣根はあまりないと感じている。

奉仕活動を通じて、役割を果たすことでコミュニケーションを図ることもできるし、居場所を作っていくことが出来ると思う。新入会員とともに学び合っていきたい。

また、得意分野もあるだろうが、得意分野以外のいろんな奉仕に関わることで、

学ぶことも多いと思う。その際には、慣れないこともあるだろうが、得意な人がフォローアップをすることが肝要である。

広田会員【①、②】

新入会員が入ったことでクラブ全体の雰囲気も大きく変わってきていると思う。

例会の運営につき、どのようにすれば会員の皆さんに有意義な時間を過ごしてもらえるかを考える。たとえば、卓話については、外からの講師を呼ぶことも有意義であるが、会員自らが卓話において人生や思い出などを話される等で相互に学ぶことも多いと思う。

表会員【①、②】

最近では、入会間もなく溶け込めるような雰囲気になっている。これからもどんどん遠慮することなく、溶け込んでいってもらえたらと思う。

例会ではなかなかコミュニケーションを取りにくいと思うので、同好会・奉仕活動などに積極的に参加してもらえればよりコミュニケーションがとりやすくなると思う（特にコーラス）。

若い人はどうしても避けてしまうように感じてしまうので、ぜひ積極的に参加して、一緒に楽しくロータリーを語ろう。同好会も若い人が参加しやすいように工夫をしていくと良いと思う。

各委員活動（役職等）を経ることで、素晴らしいロータリアンになれると思う。

田中会員【①、②、③】

先輩については話してみると意外な面も見える。

ロータリー活動については、無理をしないことが重要。無理をせず、継続することで、会員の人の、クラブの雰囲気、ロータリーの活動・精神などを感じていくことが出来ると思う。

参加できる機会があれば奉仕活動、同好会活動等どんどん積極的に参加してくれれば新たな接点ができると思う。また、当クラブの会員は排他的な人格の人はいない。

若い人が嫌な感情を抱かずに、心の底から同世代の人を招きたいと思えるようなクラブにしたい。

大橋会員【①、②、③】

一定の年数を経た立場としてやるべきことがあると感じている。ロータリー活動は、マイペースで無理せず少し頑張っただけで奉仕活動をするので、自分の為にもなると思う。

出来るだけ時間を作って奉仕活動に参加することでもっとロータリーの奉仕というものがあるのかが分かるし、コミュニケーションも図りやすくなる

と思う。また、どの行事についても、垣根を感じずに参加されたらよいと思う。

以上

（文責 松木俊明）

■2015～2016 年度 地区大会日程

【第1日目】2015年12月4日（金）

《リーガロイヤルホテル 3F光琳の間》

*RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

*17:30～ 受付開始 *18:30～21:00

【第2日目】2015年12月5日（土）

《大阪国際会議場 5Fメインホール》

*本会議（開場午前10時15分）

*11:00～12:00 夢のデュオコンサート

庄司紗矢香（ヴァイオリン）&小菅優（ピアノ）

*12:00～ 休憩

～午後の部～

*13:15～15:00（予定）式典

*15:00～16:40 特別シンポジウム

“究極の職業奉仕”

「関西発の医療イノベーション-最先端研究から創薬へ」

基調講演 ①大阪大学名誉教授 岸本忠三 氏

基調講演 ②京都大学名誉教授 本庶 佑 氏

*16:45～17:30（予定）式典・閉会



石田会員の投稿写真

生駒山・石切 興法寺（水守さんのお寺）のもみじが美しく色づいていました。